

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		連合発表会(学芸会・音楽会)				所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等			〔法令等名〕				
	事業対象	区立小学校児童						
	事業目的	区立小学校の児童が日頃の成果を発表し、鑑賞することにより創造性を育む。						
	事業内容	区立小学校の児童が、音楽会・学芸会において日頃の学習の成果を発表する。						
委託の有無	一部委託		委託内容	舞台装置撤去等作業委託、楽器調整等作業委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	発表会開催 (回)		1	1	1	1	
	成果指標	参加児童数 (人)		750	716	769	820	
	決算額 (単位：千円)				442	420	419	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				270	167	170
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				442	421	419
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0
		総経費				712	588	589
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
	一般財源 (区負担額)				712	588	589	
前年度から改善した事項		前年度に引き続き適切な事業実施に努めた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	児童に日々の学習成果を発表する機会を設け、互いに刺激を受け、学習への意欲向上につながる。事業を継続する必要性は高い。					
	効率性	3	区内の小学校を半数に分けて集め、隔年で発表会を行うことで効率的に事業を実施できている。また、区立施設を利用することで低コストを実現できている。					
	手段の適切性	3	複数校で集まり発表会を開催することで、学校間での学習の成果を確認することができ、児童が互いに刺激を受けて学習への意欲向上へつながっている。					
	目的達成度	4	参加児童数は目標を達成しており、多くの児童が発表会に参加することで学習上の効果を上げている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
各学校が発表会の実施に向けた練習を通して学校全体のまとまりが生まれ、また各学校の発表を鑑賞し、児童が互いに刺激を受け、学習意欲の向上につながるなど、様々な効果がある。継続して事業を実施する必要がある。							維持	